OLYMPUS®

デジタルカメラ

SP-320

取扱説明書

応用編

カメラを使いこなすための
すべての機能について説明しています。

カメラの基本操作

基本的な撮影

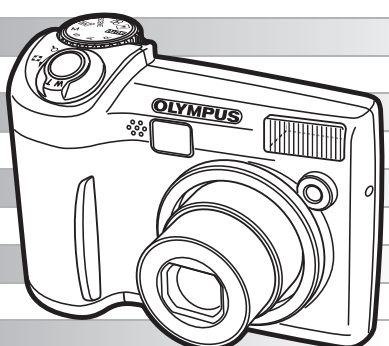
高度な撮影

いろいろな再生

プリント

パソコンでの活用

カメラの設定



- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。

取扱説明書の使い方

●「基本編」と「応用編」について

このカメラの取扱説明書は、基本編と応用編（本書）の2冊で構成されています。

基本編　撮影して再生するまで、すぐにできるように簡単に説明しています。さっそく撮ってみましょう。また、カメラの代表的な機能の他、プリントする場合やパソコンで活用する方法についても紹介しています。

応用編　カメラの使い方に慣れたら、カメラの他の機能も使ってみましょう。もっときれいに、もっと楽しく撮れるように多くの機能が用意されています。

●表記について

本書の表記について説明します。

ご注意
故障やトラブルになるような、重要な注意事項が書かれています。絶対に避けていただきたい操作も書かれています。

ヒント
活用するために、知っておくと便利なことや役に立つ情報などが書かれています。

☞
本書での参照先のページを書いています。

取扱説明書の構成

このカメラを使いこなすための大切なポイントが書かれています。 実際に撮影する前に読みましょう。	**カメラの基本操作**	P.9
	撮影前に知っておきたいこと	P.21
撮影の基本から便利な撮影まで。 撮影に関するすべての機能がわかります。	**基本的な撮影機能**	P.35
	より高度な撮影機能	P.50
	いろいろな撮影機能	P.66
撮った画像を見たい、編集したい、整理したい。	**再生**	P.75
カメラをもっと使いやすくするための各種設定。	**設定**	P.105
撮影した画像をプリントしたい。	**プリント**	P.120
撮影した画像をパソコンで利用したい。OLYMPUS Masterを使いたい。	**パソコン接続**	P.136
困ったときに。 各部の名称、メニュー一覧を確認したいとき、検索したいときに。	**付録**	P.152
	資料	P.170

各章の扉ページには、それぞれの章に関連したコラムを記載しています。ぜひご覧ください。

もくじ

取扱説明書の使い方 2
取扱説明書の構成 3

1 カメラの基本操作 - 9

モードダイヤル 10
ダイレクトボタン 12
　撮影モードのダイレクトボタン操作 12
　再生モードのダイレクトボタン操作 13
メニュー 14
　メニューの種類 14
　メニューの操作方法 17
　GUIDE 機能を使う 19
操作ページの使い方 20

2 撮影前に知っておきたいこと - - - - - - - - - - - - 21

電源を入れる／切る 22
液晶モニタとファインダを使い分ける 23
ピントが合わないとき 24
　ピント合わせの方法（フォーカスロック） 24
　オートフォーカスの苦手な被写体 25
画質について 26
　静止画の画質モード 26
　ムービーの画質モード 28
　撮影可能枚数・撮影可能時間 28
　画質モードを変更する 30
内蔵メモリとカードについて 32
　カードについて 33
　カードを入れる／取り出す 33

3 基本的な撮影機能 - - - - - - - - - - - - - - - - - - 35

撮影したいものに合わせて設定する 36
被写体を大きく撮影する 40
　ズームを使う 40
　デジタルズームを使う 40
　マクロ／スーパーマクロを使う 41
フラッシュ撮影 42
　フラッシュ補正 44
　フラッシュシンクロ SYNC2 45
スレーブフラッシュ撮影（フラッシュ選択） 46

ムービー撮影 47
手ぶれ補正 48
ムービー録音 49

4 より高度な撮影機能 - - - - - - - - - - - - - - - - - - 50

絞り値を変更して撮影する **A** 51
シャッター速度を変更して撮影する **S** 52
絞り値とシャッター速度を変更して撮影する **M** 53
マイモード撮影 53
ピント合わせの応用 54
AF 方式（iESP ／スポット／ターゲット選択） 54
マニュアルフォーカス（フォーカスモード） **MF** 55
フルタイム AF 56
AF ロック撮影 56
AF イルミネータ 57
明るさを測る範囲を変える（測光） 58
AE ロック撮影 58
ISO 感度を変更する（ISO 感度） 60
画像の明るさを変える（露出補正） 60
ホワイトバランスを調整する 61
WB 補正 63
撮影画像を調整する（シャープネス／コントラスト／彩度）
..... 64
画像のノイズを軽減する（ノイズリダクション） 65

5 いろいろな撮影機能 - - - - - - - - - - - - - - - - - - 66

連続して撮影する（連写／高速連写／ AF 連写／ **BKT**）
HI AF BKT 67
インターバル撮影 68
セルフタイマー撮影 69
パノラマ撮影 70
撮影時に音声を録音する（スチル録音） 71
液晶モニタの表示を切り換える（DISP./GUIDE） 72
ヒストグラム表示 73
罫線表示 74

6 再生 ---------- 75

静止画の再生 ▶ 76
画像をカレンダー再生する（カレンダー）..... 77
画像を回転させる（回転表示）..... 77
ムービーの再生 ▶ 78
ムービーの再生開始位置を選ぶ（インデックスジャンプ）..... 79
アルバムの再生 80
撮影した画像をアルバムに入れる（アルバム登録）..... 80
アルバムの画像を見る（アルバム選択）..... 82
アルバムの表紙を選ぶ（タイトル画像選択）..... 83
アルバム登録を解除する（解除）..... 84
アルバムから画像を消去する（1 コマ消去）..... 85
スライドショー 86
撮った画像に音声を録音する（録音）..... 88
静止画の編集（RAW 編集／リサイズ／トリミング／赤目補正／
モノクロ作成／セピア作成）..... 89
画像の合成（フレーム合成／タイトル合成／カレンダー合成／
レイアウト合成）..... 92
画像の調整（明るさ調整／鮮やかさ調整）..... 95
ムービーの編集 96
インデックス作成 97
ムービー編集 98
テレビで再生する 99
ビデオ出力 100
画像を保護する（プロテクト）..... 101
内蔵メモリの画像をカードにコピーする（バックアップ）..... 101
画像を消去する 102
1 コマ消去 103
全コマ消去 103
内蔵メモリ／カードを初期化する（メモリフォーマット／
カードフォーマット）..... 104

7 設定 ---------- 105

変更した設定を初期値に戻す（リセット）..... 106
表示する言語を切り換える 106
起動画面／終了画面を変える（PW ON 設定／ PW OFF 設定）..... 107
画面登録 107
撮影後すぐに画像を確認する（レックビュー）..... 108
カメラの音に関する設定を行う（ビープ音／操作音／
シャッタ音／再生音量）..... 109

ファイル名をリセットする（ファイル名メモリー）..... 110
画像処理機能を調整する（ピクセルマッピング）..... 111
液晶モニタの明るさを調整する（モニタ調整）..... 112
日付・時刻を設定する（日時設定）..... 113
時差をつけて日時設定をする（デュアルタイム設定）..... 114
距離の単位を設定する（m/ft 設定）..... 115
カメラのカスタマイズ（マイモード設定／
ショートカット設定／カスタムボタン設定）..... 115

8 プリント ---------- 120

ダイレクトプリント（PictBridge）..... 121
ダイレクトプリントについて 121
かんたんプリント 122
カスタムプリント 123
その他のプリントモードとプリント設定 127
エラーメッセージが表示されたときは 130
プリント予約（DPOF）..... 131
プリント予約とは 131
1 コマ予約する 133
全コマ予約する 134
プリント予約を解除する 135

9 パソコン接続 ---------- 136

操作の流れ 137
付属の OLYMPUS Master を使う 138
OLYMPUS Master とは..... 138
OLYMPUS Master をインストールする 139
カメラをパソコンに接続する 143
OLYMPUS Master を起動する..... 144
カメラの画像をパソコンで表示する..... 146
取り込んで保存する..... 146
静止画／ムービーを見る..... 148
プリントする..... 149
OLYMPUS Master を使用せずにパソコンに
画像を取り込んで保存する 151

10 付録 - 152

困ったときは 153
エラーメッセージ 153
トラブルシューティング 155
アフターサービス 162
お手入れ 162
電池について 163
別売品について 164
AC アダプタ 164
使用上のご注意 165
使用条件について 165
電池について 165
液晶モニタについて 166
用語解説 167

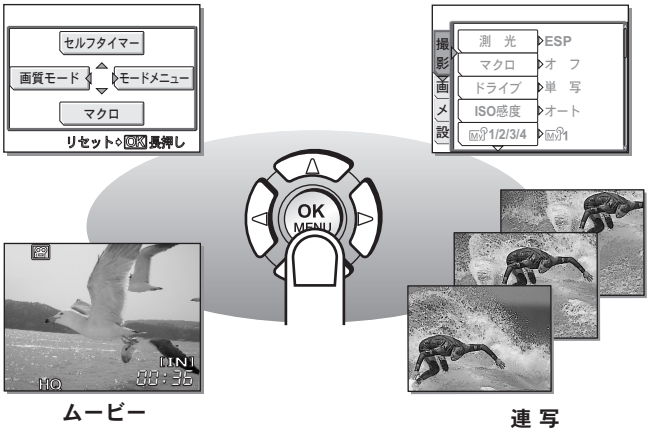
11 資料 - 170

メニュー一覧 171
初期設定一覧 180
撮影モード／撮影シーン別設定可能な機能 182
索引 185
お問い合わせいただく前に（お願い） 189

カメラの基本操作

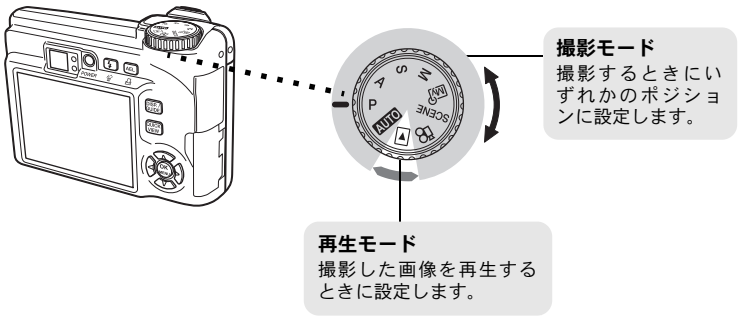
1

いろいろな機能があるのは知っているけれど、なんだかむずかしそう、などと思っていませんか。
デジタルカメラを使うあなたはボタンを操作するだけ。メニューを設定すれば、取り込む光の量を調整する、ピント合わせの範囲を変えるなどの機能を簡単に使いこなすことができます。
メニューの設定は、液晶モニタを見ながらボタン操作で行います。各機能の説明を読む前に、まずはボタンとメニューの操作方法をマスターしましょう。



モードダイヤル

このカメラには撮影モードと再生モードがあります。モードダイヤルを使って設定します。目的のモードに合わせて電源を入れてください。



●モードダイヤルの種類

撮影モード	AUTO	フルオートで撮影します。
	P	被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度の組み合わせをカメラが自動的に決めます。
	A	絞り値を自分で設定します。シャッター速度はカメラが自動的に設定します。☞「絞り値を変更して撮影する」(P.51)
	S	シャッター速度を自分で設定します。絞り値はカメラが自動的に設定します。☞「シャッター速度を変更して撮影する」(P.52)
	M	絞り値とシャッター速度を自分で設定します。☞「絞り値とシャッター速度を変更して撮影する」(P.53)
	MY	撮影に関する各種機能を設定してマイモードとして登録し、オリジナルの撮影モードとして使います。☞「マイモード撮影」(P.53)
	SCENE	撮影状況に合わせた25種類の撮影シーンから選択します。☞「撮影したいものに合わせて設定する」(P.36)
		ムービーを撮影します。☞「ムービー撮影」(P.47)
再生モード		静止画またはムービーを再生します。音声も再生できます。☞「再生」(P.75)

? ヒント

- モードダイヤルの位置によって、ダイレクトボタンの機能やメニューの内容が異なります。☞「ダイレクトボタン」(P.12)、「メニュー」(P.14)、「メニュー一覧」(P.171)
- モードの変更はカメラの電源が入っている状態でも行えます。

モードダイヤルの表記

本書では、各機能を操作するときのモードダイヤルの状態を以下のアイコンで示します。

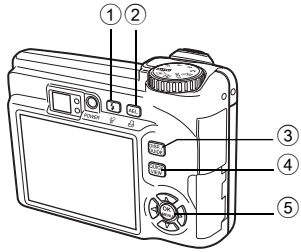
モードダイヤルを🎬に合わせて操作することを示しています。

モードダイヤルを AUTO P A S M MY SCENE 🎬のいずれに合わせても操作できることを示しています。

ダイレクトボタン

このカメラは、ダイレクトに機能が設定できるボタンを備えています。
撮影モードと再生モードで使用できるボタンが異なります。

撮影モードのダイレクトボタン操作



①	ボタン（フラッシュモード）	☞P.42

フラッシュモードを切り換えます。

②	**AEL**ボタン（AEロック）／カスタムボタン	☞P.58、P.115

露出を固定します。押すたびにロックと解除を繰り返します。
カスタムボタンとしてよく使う機能を登録することもできます。ボタンを繰り返し押して、登録した機能の設定を切り換えます。
右の画面は、カスタムボタンに［ドライブ］を登録した場合の画面です。

③	**DISP./GUIDE**ボタン	☞P.19、P.72

メニューを選択した状態で押すと、そのメニュー機能の説明が表示されます。
撮影待機状態で繰り返し押すと、罫線やヒストグラムが表示されます。また、液晶モニタを消灯します。

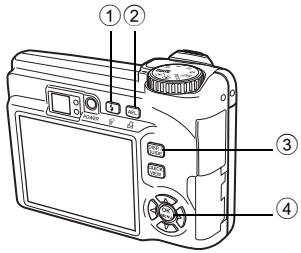
④	**QUICK VIEW**ボタン	☞P.76

最後に撮影した画像が液晶モニタに表示されます。通常の再生モードと同様の各機能を使うことができます。もう一度**QUICK VIEW**ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しするとすぐに撮影モードに戻ります。

⑤	ボタン（OK／MENU）	☞P.14

撮影モードのトップメニューを表示します。

再生モードのダイレクトボタン操作



①	🗑ボタン（消去）	☞P.85、P.102

表示している画像を消去します。

②	凸ボタン（プリント）	☞P.122

表示している画像をプリントします。

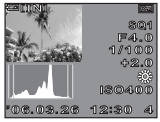
③	**DISP./GUIDE**ボタン	☞P.19

メニューを選択した状態で押すと、そのメニュー機能の説明が表示されます。
再生中に繰り返し押すと、以下の順番で表示が切り換わります。ムービーを表示している場合は、ヒストグラムは表示されません。

通常の再生画面が表示されます。

詳細情報が表示されます。

のみが表示されます。



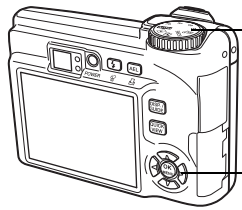
ヒストグラムが表示されます。

④	OKボタン（OK／MENU）	☞P.14

再生モードのトップメニューを表示します。

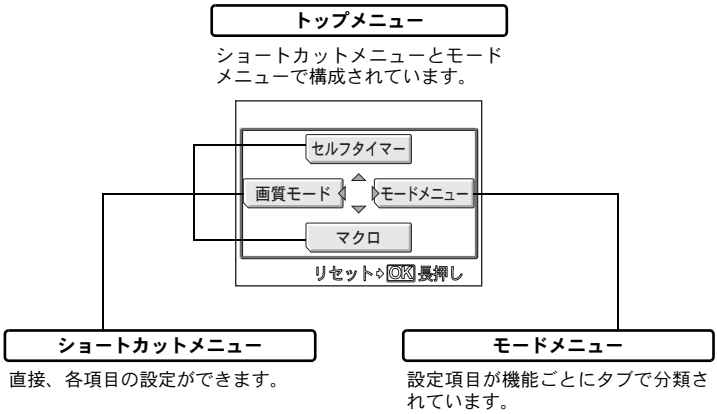
メニュー

モードダイヤルをいずれかのモードにあわせて㊙を押すと、液晶モニタにメニューが表示されます。カメラの各設定はこのメニューで行います。



メニューの種類

撮影モードと再生モードでは、表示されるメニュー項目が異なります。



? ヒント

- トップメニューで㊙を長押しすると、以下の機能にジャンプします。

撮影モード（M以外）

［リセット］画面が表示されます。☞「変更した設定を初期値に戻す（リセット）」(P.106)

再生モード

［アルバム登録］画面が表示されます。☞「撮影した画像をアルバムに入れる（アルバム登録）」(P.80)

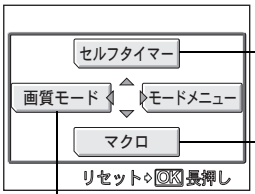
アルバム再生モード

［解除］画面が表示されます。☞「アルバム登録を解除する（解除）」(P.84)

ショートカットメニュー

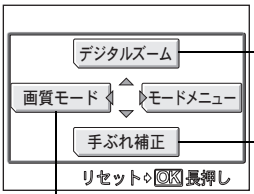
●撮影モード

静止画撮影時（初期値）



☞P.69
☞P.41
☞P.26

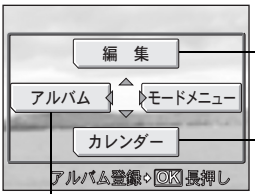
ムービー撮影時



☞P.40
☞P.48
☞P.26

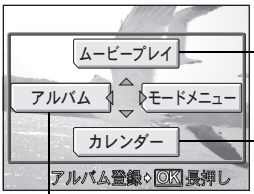
●再生モード

静止画再生時



☞P.89、92、95
☞P.77
☞P.80

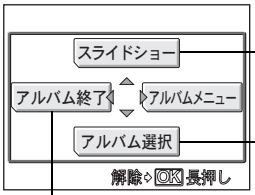
ムービー再生時



☞P.78
☞P.77
☞P.80

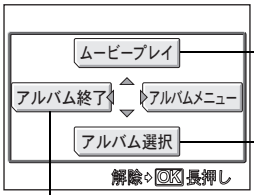
アルバム再生モードの場合

静止画再生時



☞P.86
☞P.82
☞P.83

ムービー再生時



☞P.78
☞P.82
☞P.83

? ヒント

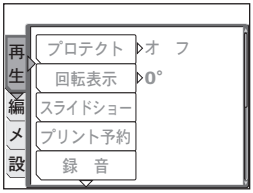
- ショートカットメニューはモードメニューからも設定することができます。また、AUTO、、▶以外のモードではショートカットメニューを変更することができます。☞「カメラのカスタマイズ（マイモード設定／ショートカット設定／カスタムボタン設定）」(P.115)

モードメニュー

●撮影モード

撮影タブ	撮影に関する設定をします。
画像タブ	画質やホワイトバランスなど画像に関する設定を行います。
メモリ／カードタブ	内蔵メモリまたはカードをフォーマットします。また、内蔵メモリのデータをカードに保存します。
設定タブ	カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。

●再生モード



再生タブ	再生に関する設定をします。
編集タブ	撮影した画像を編集します。トップメニューから［編集］を選択した場合も同じ画面が表示されます。
メモリ／カードタブ	内蔵メモリまたはカードのフォーマットや全コマ消去をします。また、内蔵メモリのデータをカードに保存します。
設定タブ	カメラの基本的な設定や使いやすくするための設定を行います。

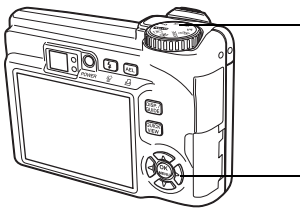
? *ヒント*

- 内蔵メモリを使用している場合は［メモリ］タブ、カメラにカードをセットしている場合は［カード］タブが表示されます。
- モードメニューの各項目については「メニュー一覧」(P.171) を参照してください。

メニューの操作方法

メニューは十字ボタンとOKを使って設定します。
メニュー画面に使用する十字ボタンや操作ガイドが表示されますので、それにしたがって選択、設定します。

例：［マクロ］を設定する場合

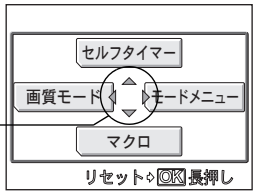


1 **モードダイヤルをPASMSCENEのいずれかにあわせます。**

2 **OKを押します。**

- トップメニューが表示されます。

トップメニュー



3 **を押して［モードメニュー］を選択します。**

十字ボタン( )を表しています。

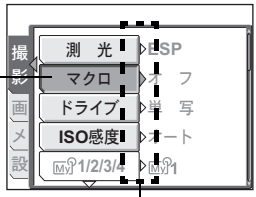
4 **を押して［撮影］タブを選択し、を押します。**

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択、設定します。

十字ボタン( )を表しています。

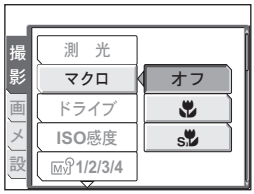
5 ▲▼を押して［マクロ］を選択し、▶を押します。

- 画面に表示された十字ボタンにしたがって選択、設定します。
- 設定できない項目は選択できません。



6 ▲▼ を押して［オフ］［🌷］［S🌷］から選択し、OK を押します。

- OK を繰り返し押すと、メニューが終了します。



? ヒント

- 設定する項目によっては、画面下に操作ガイドが表示されます。この場合は、操作ガイドにしたがって十字ボタンを押して設定、変更します。

メニュー操作の表記

本書では、メニューでの操作手順を次のように表記しています。
- 例：［マクロ］を設定する場合の手順1〜5

P A S M MY SCENE

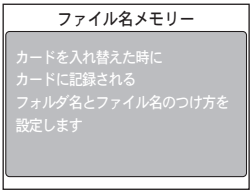
トップメニュー▶［モードメニュー］▶［撮影］▶［マクロ］

GUIDE機能を使う

このカメラでは**GUIDE**機能が用意されています。撮影モードまたは再生モードでメニュー表示中に**DISP./GUIDE**ボタンを押すと、そのメニューについて解説するメニューガイドが表示されます。

1 メニューを選択した状態で DISP./GUIDEボタンを押し続けます。

- メニューの説明が表示されます。
- **DISP./GUIDE** ボタンから指を離すと、メニューガイドは消えます。

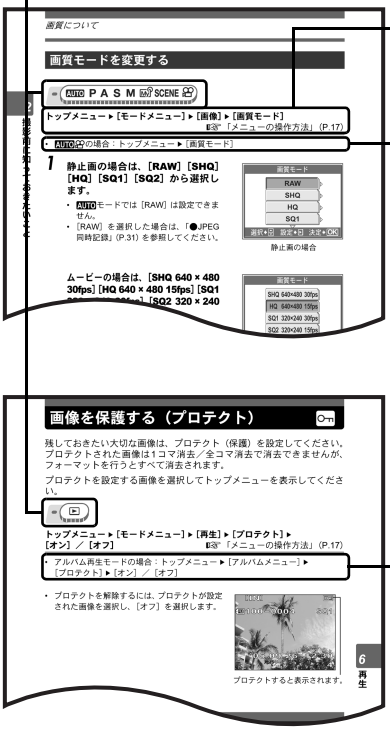


［ファイル名メモリー］選択時

操作ページの使い方

各機能の操作ページの表記について説明します。撮影・再生を始める前にご確認ください。

モードダイヤルをどの位置にあわせるかを示しています。
複数のアイコンが表示されている場合は、どのアイコンでも操作できる機能です。
☞「モードダイヤル」(P.10)、「モードダイヤルの表記」(P.11)



メニューは▶の順に操作します。
☞「メニューの操作方法」(P.17)、「メニュー操作の表記」(P.18)

AUTOモード、🎀モード、アルバム再生モードではメニュー操作の順が異なります。

このページは説明のためのサンプルです。実際のページとは異なる場合があります。